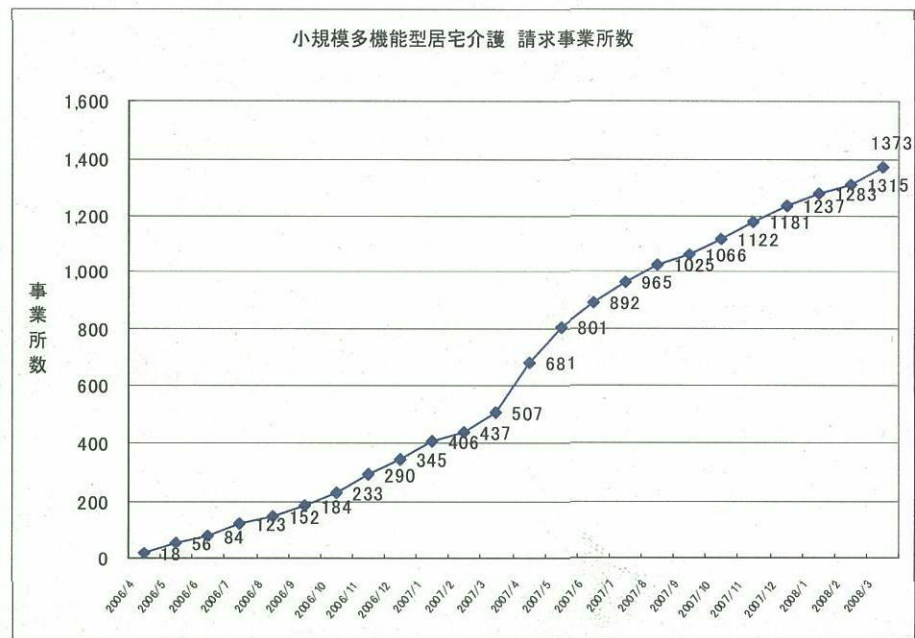
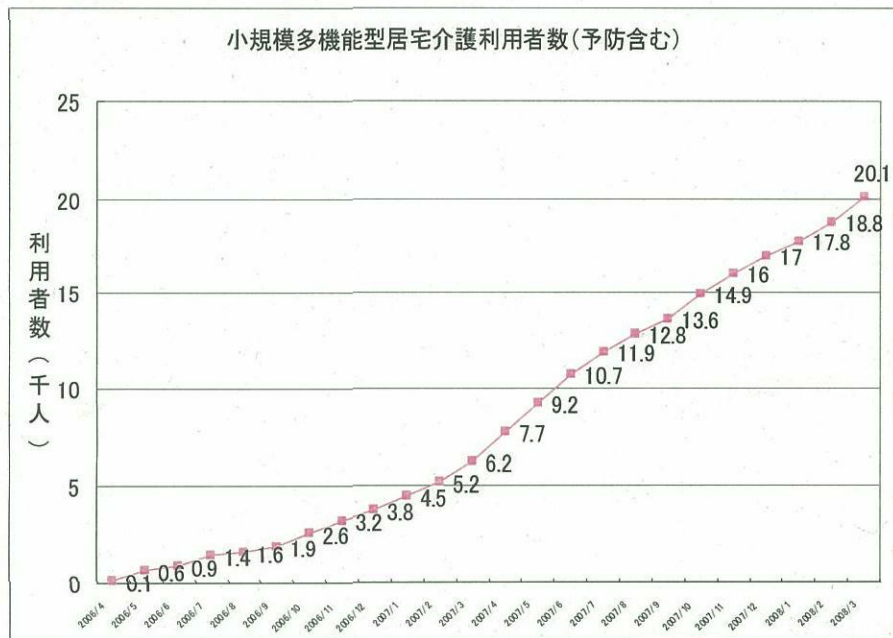


小規模多機能型居宅介護について

【小規模多機能型居宅介護の導入の経緯】
○ 「通い」を中心として、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせた24時間切れ目のないサービス提供を行うことにより、在宅での生活の継続を希望する中重度者の社会的ニーズを支えるものとして導入。

I 小規模多機能型居宅介護の現状と課題

【小規模多機能型居宅介護の状況①】
○ 小規模多機能型居宅介護(予防含む)の利用者数は約20.1千人、事業所数は1,373カ所となっている。(平成20年4月審査分)



(資料出所)厚生労働省「介護給付費実態調査」より作成